

# 技科大・高専連携に基づく地域産学官金協創プラットフォームの構築と 全国展開による自立的な財政基盤・マネジメントの強化



国立高等専門  
学校機構  
国立高専51校

## 基本構想

両技科大は、Society5.0を支えるモノづくり+ITの研究分野を中心にイノベーション創成に貢献する地域大型共同研究および教育連携を強化することにより、多様な財源確保による法人の財政基盤・マネジメント強化を図り、地域の特色に応じた産業活性化・新産業創出、地域に貢献する人材育成、地域活性化を行う。

## 現状と課題

- 現状：豊富な研究シーズ・高専含め4,200人の充実の教員数・高い産学共同研究力・強い三機関連携  
民間との共同研究実績2018年度 両技科大406件・6.90億円
- 課題：ニーズ・シーズマッチングが困難・産学連携支援人材と組織が脆弱・AI人材育成への単独対応の限界

## 経営改革のビジョン

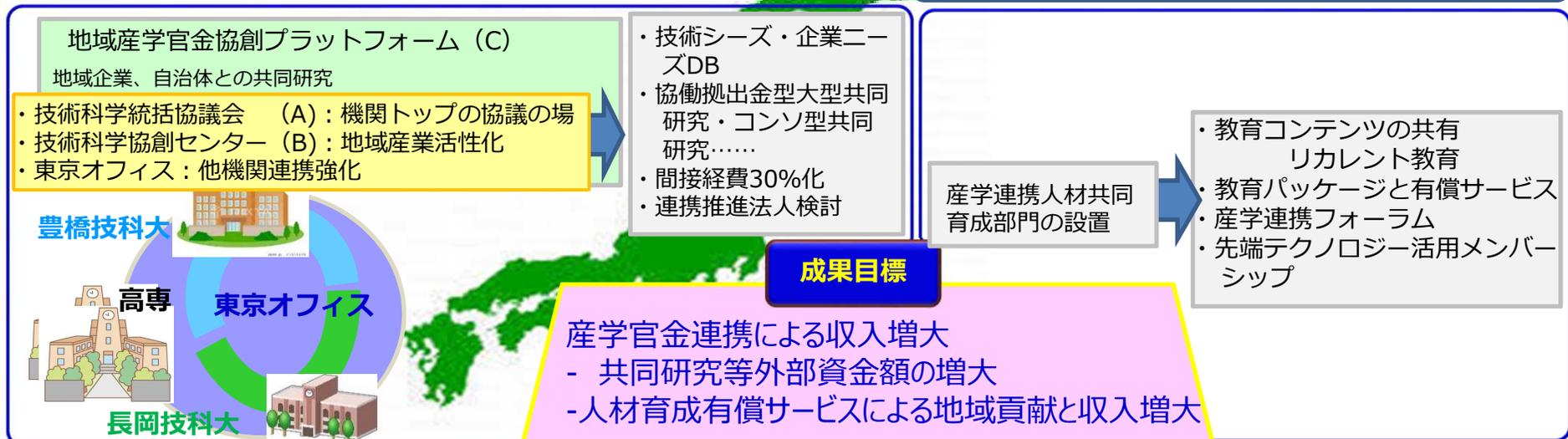
……………全国に展開する高専との連携による重層的かつ多様な教育・研究機会の提供

学長のリーダーシップのもと、以下を推進する。

- 1 両技科大・高専連携による、全国ネットの技術・産業の高度化による地域再生
- 2 幅広い産学連携により財源を多角化し、大学の経営基盤を強化
- 3 学生教育から社会人リカレント教育まで、IT/AIに強い技術科学人材の効果的育成

## 取組①：地域産学官金協創プラットフォームの構築 による自立的財政基盤強化

## 取組②：地域産学官金が連携した人材育成構想 の実現による地域社会貢献と財政基盤強化



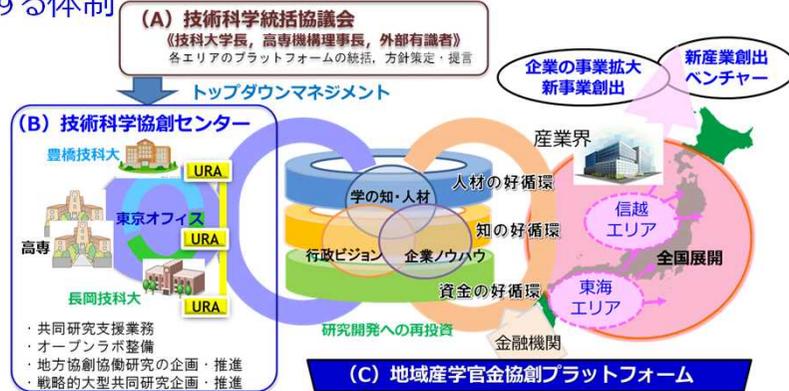
# 補助金を活用した取り組み

## 事業の位置づけ

本事業では、両技科大が共有しているビジョンに基づく大学経営改革に取り組み、それによる研究成果の社会実装と地方創生への貢献を進める。相補的、互惠的關係による広域対応を持続的に可能とするモデルを構築しつつ、他の地域の大学・高専の参加を得て実施地域を拡大する。

### 取組①：地域産学官金協創プラットフォームの構築による自立的財政基盤強化

#### ◆構築する体制



#### ◆戦略的大型共同研究拡充手法

……(C)地域産学官金協働プラットフォームの構築



#### ◆間接経費比率拡大による財政基盤の強化

……間接経費比率の30%化

### 取組②：地域産学官金が連携した人材育成構想の実現による地域社会貢献と財政基盤強化

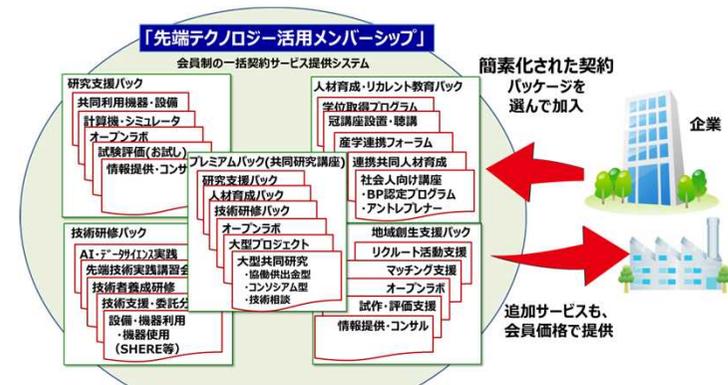
#### ◆組織再編

技術科学協創センターに『人材共同育成部門』の設置

#### ◆教育コンテンツの共有化、遠隔地リカレント教育

……AI, 数理・データサイエンス教育

#### ◆パッケージ化有償サービスの提供



#### ◆大学と企業の協力組織の拡充

……先端テクノロジー活用メンバーシップ、21世紀ランプ会

#### ◆産学連携フォーラムの開催

……両技科大、各地域の高専、企業の合同開催

# KPI達成に向けた主な取組工程



	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	事業終了までのアウトカムズ (KPI)
取組① 地域産学官金協創プラットフォーム構築		組織構築 信越・東海・東京	他エリア へ展開	KPI②/間接経費比率： 24%達成
		合同プロジェクト企画・推進 ・DBの構築 ・研究会設置拡大 ・オープンアプリケーション方式共同研究推進 ・戦略的コンソーシアム型共同研究推進 ・間接経費比率拡大 ・連携推進法人の設立検討		KPI③/戦略的コンソーシアム 型共同研究実施： 6件達成
取組② 人材育成構想の実現と財政基盤強化		組織再編		KPI④/人材育成パッケージ 利用機関数：15機関達成
		・人材育成の有償パッケージ化 ・GI-net接続を活用した遠隔地リカレント教育 ・自治体・商工会議所・金融機関との連携強化		



KPI①協働拠出金型共同研究に含まれる共同研究費・受託研究費の総額：3.5億円達成